

**製品名: AMPK ベータ 1 マウスモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMM85035**

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 30 kDa; Observed MW: 38 kDa

## 抗原情報

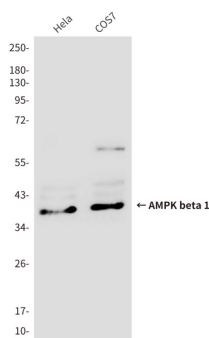
遺伝子名	AMPK beta 1
別名	5' '-AMP-activated protein kinase subunit beta-1; AMP-activated; noncatalytic; beta-1; AMPK; AMPK beta 1 chain; AMPK subunit beta-1; AMPK-BETA-1; AMPKb; HAMPKb; PRKAB1
遺伝子 ID	5564.0
SwissProt ID	Q9Y478
免疫原	AMPKβ1 の組み換えタンパク質。

## 背景

AMP 活性化プロテインキナーゼ (AMPK) は、酵母から植物、動物に至るまで高度に保存されており、エネルギー恒常性の調節において重要な役割を果たしています。AMPK は、触媒  $\alpha$  サブユニットと調節  $\beta$  サブユニットおよび  $\gamma$  サブユニットからなるヘテロ三量体複合体であり、各サブユニットは 2 つまたは 3 つの異なる遺伝子 ( $\alpha 1, 2; \beta 1, 2; \gamma 1, 2, 3$ ) によってコードされています。

## 研究分野

## 画像データ



AMPK ベータ 1 抗体を使用した HeLa、COS7 溶解物中の AMPK $\beta$ 1 のウエスタン ブロット分析。